

産業能率大学 情報マネジメント学部

実用英語 I	履修年次	2	
	単位	1	
ハーベリー真理子	配当期	前	
	授業方法	演習※ / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>実用英語検定試験とは異なり、TOEIC テストは、レベル別のテストがなく、初級者も上級者も同じテスト(オンラインテストを除く)を受けなくてはならない。学生の中には TOEIC 模試問題を見て、「難しい」、「とても無理だ」、と諦めてしまって、やる気をなくしてしまう人がいるが、現在のスコアが 400 点程度の初心者はやさしい問題を確実に解くことができれば良いのである。前半のリスニング問題はビジネス関連の日常会話が中心なので、ビジネスで使われる単語の学習が特に大切である。</p> <p>この授業ではテストの形式と傾向を分析しながら語彙と文法力の向上をはかり、正確に速く解けるよう指導する。テストの後半のリーディングは、問題数が大変多く、読む量が多いので、初心者の多くは最後のほうの問題まで解く時間がなくなってしまうことがほとんどだ。しかし問われている英文法の知識は一般のものほとんど変わらない。また、難しい文法問題もほとんどなく、基本的な英文法の知識があれば問題なく解答することが可能である。</p> <p>従って、授業での演習を通して文法力、語彙力を強化することにより確実にスコアアップすることができるだろう。</p> <p>この科目を履修するにはある程度の文法知識と語彙力が必要である。内容的に 1 年次配当の「英語 II C、II D」クラスの学生であれば無理がないであろう。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義受講後 TOEIC テストのスコアを 50 点程度向上させる。また、初めてこのテストを受験する学生は、350 点から 450 点取れるようになる。 ・一般的なオフィスでの会話やビジネス単語を聴いて内容が理解できるようになる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、小テスト、および定期試験の結果により総合的に評価する。なお、評価方法の詳細は、初回授業で説明を行う。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス 授業の進め方 TOEIC の形式と傾向	8	Unit4 前半 (文法: 仮定法, Listening practice)
2	Unit1 前半 (文法: 動詞と時制 1→現在時制・自他動詞, Listening practice)	9	Unit4 後半 (Reading practice: お知らせ文)
3	Unit1 後半 (Reading practice: 求人票他)	10	Unit5 前半 (文法: 準動詞 1→to 不定詞, Listening practice)
4	Unit2 前半 (文法: 動詞と時制 2→副詞節、現在完了, Listening practice)	11	Unit5 後半 (Reading practice: ビジネス全般、チャート)
5	Unit2 後半 (Reading practice: 短文記事)	12	Unit6 前半 (文法: 準動詞 2→to 不定詞と動名詞の違い, Listening practice)
6	Unit3 前半 (文法: 動詞と時制→過去完了, Listening practice)	13	Unit6 後半 (Reading practice: 多様なスタイルに慣れる)
7	Unit3 後半 (Reading practice: ビジネス文書)小テスト(復習)	14	定期試験対策